

資 料 提 供	
令和5年 1月 24日	
担当者	国際課 是永、川本
電 話	073-441-2061

和歌山県立田辺高等学校と 対日理解促進交流プログラムを活用したインド人日本語学習者 との交流について

和歌山県とインド・マハラシュトラ州とは、平成25年10月に在大阪・神戸インド総領事館の協力のもと、観光および農産品と食品加工分野における相互経済関係の促進・拡大を目的とした覚書を締結しました。その後、平成30年1月には、同州との交流をより一層強化するため、覚書を更新し、行政、教育、文化、スポーツ等、多方面で交流を重ねています。

今般、外務省が推進する国際交流事業「対日理解促進プログラム JENESYS 2022」の一環として、本県高校生とインド人日本語学習者の間で、学校交流を実施する運びとなりましたので、お知らせ致します。

記

1. 開催日 : 令和5年1月27日(金) 10時40分から12時20分まで
2. 参加者 : 県立田辺高等学校 2年生「地理B」選択生(44名)
2年生「日本史B」選択生(34名)
インド人日本語学習者(19名)
3. 交流場所 : 県立田辺高等学校
4. 交流内容 : 日本語でのプレゼン、学校内見学、グループディスカッション など
5. 使用言語 : 日本語(必要に応じて逐次通訳)

取材を希望される場合は、事前に上記担当者までお問い合わせください。

【参考】対日理解促進交流プログラム JENESYS

外務省が推進する国際交流事業。日本とアジア大洋州等の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について、被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的に実施。